

管内公立病院における新公立病院改革プランへの対応について

公立病院においては、平成 27 年 3 月に総務省から「新公立病院改革ガイドライン（以下「新ガイドライン」という。）」が示され、地域医療構想を踏まえた「新公立病院改革プラン」を策定し、医療提供体制の改革と連携して公立病院のさらなる経営効率化、再編・ネットワーク化等を推進することが求められた。

管内各公立病院の新公立病院改革プランへの対応状況は以下のとおりである。

	医療機関名	プラン名	策定期期	概 要	新公立病院 改革プラン への対応
1	岩手県立中央病院	岩手県立病院等の経営計画 《2014-2018》	平成 29 年 3 月	<p>県医療局においては、平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間を計画期間とする「岩手県立病院等の経営計画《2014－2018》」を平成 25 年 12 月に策定した。</p> <p>その中で、医療政策に係る国の動向を注視しながら、診療報酬改定や患者動向等、県立病院を取り巻く環境の変化に的確に対応していくため、随時見直しを行うこととしており、平成 27 年 3 月に総務省が策定した<u>新ガイドラインに定める「新公立病院改革プラン」に位置付けるため、平成 29 年 3 月に「岩手県立病院等の経営計画《2014－2018》」の見直しを行った。</u></p> <div><p>VII 実施計画</p><p>1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進</p><p>〔現状と課題〕</p><p><u>県の「岩手県地域医療構想（平成 28 年 3 月策定）」において、構想の実現に向けては、入院患者の状態に応じた病床機能に分化し、各病床機能が連携していく医療提供体制を構築していくために、地域で過剰となる病床機能を不足する病床機能に転換し、それぞれの病床機能が連携していくことが必要であり、構想区域ごとに医療関係者や介護関係者、市町村、医療保険者等を構成員とした「協議の場」において協議を行いながら取り組むこととされています。</u></p><p>〔具体的方策〕</p><p>● 医療政策に係る国の動向を注視しながら、<u>「岩手県地域医療構想」に係る「協議の場」における議論を踏まえ、地域の医療資源の状況等、実情に応じて病院ごとの役割・機能を見直します。</u></p></div>	済
2	盛岡市立病院	盛岡市立病院新改革プラン	平成 29 年 1 月	<p>盛岡市立病院においては、平成 27 年度から平成 30 年度までの 4 年間を計画期間とする「盛岡市立病院第 3 次経営改善計画」を平成 27 年 3 月に策定した。</p> <p>その後、総務省から新ガイドラインが示され、岩手県地域医療構想を踏まえ、新公立病院改革プランを策定し、病院事業経営の改革に総合的に取り組むこととされたことから、<u>新ガイドラインに基づく「盛岡市立病院新改革プラン」を平成 29 年 1 月に策定した。</u>新改革プランの計画期間は、平成 29 年度から平成 32 年度までの 4 年間である。</p> <div><p><u>3 地域医療構想を踏まえた役割</u></p><p>（中略）市立病院は、盛岡構想区域が果たしている岩手県のセンター的医療機能の重要性に鑑み、高度急性期医療を担う<u>岩手医科大学附属病院や岩手県立中央病院と連携・役割分担し、急性期医療を継続しながら、平成 26 年 11 月に設置した地域包括ケア病棟を活用し、回復期病棟の不足を補うことを意識した病棟運営を進めます。</u>（1 ページ）</p></div>	済

	医療機関名	プラン名	策定期期	概 要	新公立病院 改革プラン への対応
3	八幡平市国民健康保険 西根病院	八幡平市国民健康保険 西根病院改革プラン	平成29年2月	<p>八幡平市国民健康保険西根病院においては、平成28年度から平成32年度までの5年間を計画期間とする「八幡平市国民健康保険西根病院改革プラン」を平成29年2月に策定した。</p> <div><p>Ⅲ 新病院改革プランの具体的な策定内容</p><p>1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化</p><p><u>(3)平成37年度における西根病院の具体的な将来像</u></p><p>具体的には、現状の西根病院における病床利用率を向上させるためには、大規模病院（看護配置基準7：1）が在宅復帰率8割以上の要求水準を満たす過程において<u>西根病院の地域包括ケア病床への一部病床再編を行い、後方支援病院として積極的な地域医療連携を展開する</u>必要がある（図表23）。</p><p>また、外来患者数を増やすため、<u>専門外来の充実等を図ることや在宅療養者の支援体制の強化</u>により、地域完結型医療の充実が必要である。（18ページ）</p><p><u>(4)地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割</u></p><p><u>西根病院では、将来の回復期病床の需要へ対応するために、地域包括ケア病床へ一部再編し、盛岡構想区域の在宅医療推進に寄与する</u>ことが強く望まれている。<u>地域包括ケア病床の規模</u>に関しては、これまでの一般病床への入院患者実績から勘案し、<u>一般病床40床は維持する必要があることから、将来的には60床中20床を地域包括ケア病床とする混合病床として検討を行う</u>。（19ページ）</p></div>	済
4	国民健康保険葛巻病院	国民健康保険葛巻病院 新改革プラン	平成29年9月	<p>国民健康保険葛巻病院においては、平成29年度から平成32年度までの4年間を計画期間とする「国民健康保険葛巻病院新改革プラン」を平成29年9月に策定した。</p> <div><p>Ⅲ 新病院改革プランの具体的な策定内容</p><p>1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化</p><p><u>(3)平成37年度における葛巻病院の具体的な将来像</u></p><p>（中略）具体的には、現状の葛巻病院における病床利用率を向上させるためには、大規模病院（看護配置基準7：1）が在宅復帰率8割以上の要求水準を満たす過程において<u>葛巻病院の地域包括ケア病床への一部病床再編も視野に入れて、後方支援病院として積極的な地域医療連携を展開する</u>必要がある。</p><p>また、外来患者数を増やすため、<u>専門外来の充実等を図ることや在宅療養者の支援体制の強化</u>により、地域完結型医療の充実が必要である。（14～15ページ）</p><p><u>(4)地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割</u></p><p>（中略）<u>葛巻病院では、将来の回復期病床の需要へ対応するために、地域包括ケア病床へ一部再編し、盛岡構想区域の在宅医療推進に寄与する</u>ことが強く望まれている。<u>将来的に一部地域包括ケア病床とする混合病床として検討を行う</u>。（17ページ）</p></div>	済